

太田ゼミナール（スポーツ教育学）活動報告

人間科学部 人間科学科 4年 船坂 亮介



ゼミ合宿での模擬授業の様子

私たちは神奈川県立太田大学人間科学部人間科学科の太田ゼミです。太田ゼミは担当の太田早織先生が人間科学部の教職支援に尽力していることから、ゼミ生の半分近くは教職を履修しています。そのため、授業の教材研究や模擬授業などの活動もあります。しかし、教職を志望していない学生も「計画↓実践↓評価↓改善」のPDCAサイクルを繰り返し、何の為に何をするのか探求しながら多くの経験を通して成長することが出来ます。このような魅力あふれる太田ゼミでの私たちの活動を各学年にわたって紹介します。

まず2年生では4、5人ずつのグループに分かれ、主に体育の教材研究と授業実践を行います。

私たちの学年はほとんどが球技の経験者であったため、サッカー・バスケットボール・アルティメットの3つの種目に分かれました。各種目で授業の教材を考え、考えたものを実践し、改善を重ね授業づくりに努めました。授業づくりの楽しさ・難しさを味わい、また、授業を行う者の楽しさ・難しさを知りました。

3年生では1年間を通して1人、もしくは2人のペアで研究を行います。前期は研究のテーマを決めるために、各々気になった論文を用い、それを自分で要約し発表するという活動を行いました。テーマが決まったら、後期は実験やアンケートを実施し、最後にまとめを行いました。自分たちでテーマを決め長期にわたった研究を行うことは、簡単なことではないと思います。

しかし、先生や仲間のサポートを受けながら、根気強く研究に取り組むことが、4年次の卒業研究に大きなアドバンテージをもたらすと思います。

私自身もその部分をとても痛感しました。

【3年次の研究テーマ例】（一部）

- スポーツ鬼ごっこの普及に向けて
- 障害児とその周囲の関わり方
- 体育授業へのフットワーク練習活用
- トラップの技術を向上させる声かけ
- 体育授業における準備運動の再考

2年間の活動を通して、ゼミ内での人と人のつながりは強くなります。しかし、そのつながりを更に強めるのが、運動会などの行事です。計画や運営は自分たちで行います。当日に至るまでの過程では困難なこともあります。仲間と味わる達成感や、多くの時間を共に過ごすことで、つながり



太田ゼミ8期生・9期生



運動会では紅組・白組に分かれて戦います

はより強くなります。
また概ね年2回行われるゼミ合宿では卒業した先輩方にも来ていただいたり、学年を超えたつながりを感じられる貴重な機会でもあります。そのため、太田ゼミの仲間は社会人になっても、支えあい高めあえる良き仲間であると私は思っています。これからも太田ゼミで、楽しく日々成長し続けていきます。



全員で行う綱引き